

支援対象地区進捗状況一覧

2018/09/14 現在

| No | 地区名 | 都道府県 市区町村 | 担当 アドバイザー | 取組主体 | サポーター その他関係者 | ワークショップ (キックオフ含む) | 企画と進捗状況の概要 | 津波防災の日 イベントでの 主な報告内容案 |
|------|--------------------|--------------|--------------|---|--|--|--|---|
| 30-1 | ウトロ 地区 | 北海道 斜里町 | 鍵屋委員 | ウトロ自治会 | ・北見工業大学高橋教授 ・防災科学技術研究所 ・中井佳絵氏（防災士） ・国交省北海道開発局網 走開発建設部 ・(株)ドーコン、(株)北未来 技研 | ① 7月2日キックオフ ② 8月31日勉強会 ③ 9月17日 ✓ 10月17日 ✓ 2月8日 | キックオフ及び関係者打合せを 実施し、住民向け勉強会を開 催。現在住民向けアンケート調 査を実施しており、調査結果を 踏まえ、2回のワークショップ で津波及び土砂災害の検討を進 める予定。 | ● 世界自然遺産知床ウト ロ地域における、外国 人を含む観光客の津波 避難支援対策 ● 津波避難路の交通規制 ● 流水等を考慮した冬期 の津波避難対策 |
| 30-2 | 川崎区 扇町 | 神奈川県 川崎市 | 今村委員 磯打委員 | 扇町防災協議 会 | | アンケート調査票案作 成中 | 川崎臨海部視察及び事前打合せ を実施し、まずは地区防災協議 会加盟事業所向けにアンケート 調査を実施することとなった。 現在アンケート調査票案を作成 中。 | ● 日本を代表する臨海工 業地帯（川崎臨海部） における企業間連携の 可能性 ● 堤外地としての津波防 災対策の検討 |
| 30-3 | 川崎区 水江町 | 神奈川県 川崎市 | 今村委員 磯打委員 | 水江町防災協 議会 | | アンケート調査票案作 成中 | | |
| 30-4 | 岩原及び 沼田地区 ※1 | 神奈川県 南足柄市 | 樋口委員 | 岩原自治会 沼田自治会 | （一社）南足柄みらい創 りカレッジ／富士ゼロッ クス株式会社復興支援室 | ✓ 9月2日防災ゲーム ① 9月 キックオフ調整中 ✓ 10月20日DIG | まずは住民の防災意識向上のため、 防災ゲーム（ダイレクトロ ード海辺の町）を実施。今後、 地区の災害リスクを確認し課題 を検討するためDIGを実施し、 追って計画の具体的な検討を進 める予定。 | ● テーマ：「岩原・沼田 地区での防災計画立案 に向けて」 ● サブタイトル：津波等 の災害時の広域防災/減 災実践に向けた地区防 災のあり方 |
| 30-5 | 土肥地区 ※2 | 静岡県 伊豆市 | 加藤委員 | 土肥地区他3 地区 土肥小中 学校、旅館組合 他2団体 | ・静岡大学原田准教授 ・日本工営(株) ・国交省水管理・国土墓 前局、中部地方整備局 ・静岡県危機管理部、交 通基盤部 | ✓ 6月25日キックオフ ✓ 9月20日小土肥地 区、打合せ ✓ 10月12日八木沢 地区 ✓ 10月28日訓練 ✓ 12月4日学校 ① 2～3月 交流ワー クショップ | 土肥地区内の2地区および旅館 組合等にて計画検討を進めると ともに、地区共通の基本方針を 検討する。年度末にまちづく り、地区防災計画、観光防災、 主体的な市民活動等のテーマで 交流ワークショップを行う予 定。 | ● 観光防災まちづくりの 一環としての、地域一 体となった取組み ● 観光協会及び旅館組合 の津波に備える地区防 災計画 |

| | | | | | | | | |
|------|--------|---------|------|--------------|--------------|---|---|---|
| 30-6 | 文里地区★ | 和歌山県田辺市 | 吉川委員 | 文里自主防災会 | | <p>① 8月4日講演会 ✓ 個々にまちあるき実施中 ② 9月30日</p> | <p>文里地区居住者及び地区内の公的施設利用者を対象に講演会及びワークショップを実施。ワークショップでは避難路や避難行動に関する意見があり、まちあるきの結果とあわせて分析し、第2回ワークショップを実施予定。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 避難開始までに数分の猶予もない！（災害リスクの共有） ● 自分が助かる範囲で要支援者を助ける！（要支援者支援のルール） ● 要支援者も避難をあきらめない！（要支援者避難のルール） ● 私を心配してくれる人のために、私は避難する！（避難の動機付け） ● 一時避難場所での孤立対策を考える！（一時避難場所の環境整備） ● 避難ルールを広く周知し、次世代に継承する！（避難ルールの普及） |
| 30-7 | 宇品西地区★ | 広島県広島市 | 阪本委員 | 宇品西地区社会福祉協議会 | 広島市防災士ネットワーク | <p>✓ 8月19日地区役員説明会 ① 9月22日 ② 10月15日（仮）</p> | <p>関係者間で現状の避難に関する課題を共有し、様々な津波想定を考慮したルール作りの必要性を共有した。西日本豪雨災害で、南区で土砂災害による被害が発生したことから災害対応のため第1回ワークショップを延期。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 津波被害想定を考慮した、地区独自の津波避難計画の検討 ● 地区津波ハザードマップの策定 |
| 30-8 | 中島地区★ | 愛媛県松山市 | 磯打委員 | 中島地区自主防災連合会 | 愛媛大学二神研究室 | <p>① 9月3日打合せ ✓ 9月8日訓練 ② 10月5日世帯別避難カルテ作成</p> | <p>9月8日に地区で予定されている訓練においてGPSを活用して避難行動にかかる時間を計測し、データを愛媛大学にて分析、戸別避難カルテを作成することとなった。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● シミュレーター分析を活用した島嶼地区での津波避難対策（高齢者等の避難行動を想定） ● 島内の高台は山間部となるため、地震による土砂災害も考慮した津波避難場所の選定 ● 津波対応避難所がない島嶼での津波避難対策 |

※1 主な内閣府支援は11月以降とする。※2 内閣府支援は年度末頃の交流ワークショップとする。✓は地区が独自に行う活動。★は津波防災講座実施地区（予定）。